

かみかすや あきやま
上粕屋・秋山遺跡

伊勢原市 No.205 遺跡



1.奈良・平安時代 住居跡



2.奈良・平安時代 カマド煙道出土 土師器甕



3.縄文時代 配石遺構



4.縄文時代 柄鏡形敷石住居址

● 主な調査成果

平坦な台地上から、古墳時代から奈良・平安時代の住居群が発見され、古墳時代の住居跡からは珍しい手捏ね土器が出土しました。奈良・平安時代の住居跡のカマドでは土師器甕を煙突に使っていました。縄文時代になると、後期から中期の竪穴住居跡が発見され、遺構の周辺からは多量の縄文土器片、石器が出土しました。22区北のJ4号住居跡は柄鏡形の敷石住居跡です。床が平らになるように石を敷き詰めています。このほかに21区南からは配石遺構が見つかり、集落と墓域の違いなどが判りました。ローム層からは旧石器時代の槍先形尖頭器を製作した石器集中が見つかりました。

- 調査期間 2015年4月1日～2017年3月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西に約3kmの上粕屋扇状地上

